

R7年度復職支援実技研修 報告

【呼吸フィジカルアセスメント】

日 時: R7年7月30日(水) 10:00~12:00 参加者: 8名

場 所: 市立秋田総合病院 講堂

講 師: 救急看護認定看護師 山本尚樹 氏

感 想

●とてもわかりやすく勉強になりました。今後の活動（看護）の緊急対応やフィジカルアセスメントに活かしていきたいと思います。

●とてもわかりやすい内容だった。呼吸音聴取してみて、難しいけれど「聴いたことある」と思った。臨床で是非役立つよう深めたい。

呼吸について興味があり、今回の研修会に参加させていただきました。とても分かりやすく楽しく学ぶことができました。

●今まで呼吸フィジカルの研修を受けたことがなかったが、フィジカルアセスメントの中で呼吸が一番変化しやすいのに見落としやすいと思った。緊急時、呼吸状態の確認をおろそかにすることなく確認したい。基本的なところから教えてもらい、演習もあり、話も面白く、とても聞きやすく良い学びとなった。

●いつもやっている看護であるが、しっかりと文字にし、段階を踏んだ準備、知識を得ることで、現場に活かせることが分かりました。講義は、わかりやすく、実践を交えてくださり、とても勉強になりました。

●呼吸音については少し難しかった。わからないことが多く自信がなかったが、とてもわかりやすく丁寧な対応をして頂いて、ありがたく思いました。

●緊急度・重症度を把握するためには、しっかり状態を知るためのアセスメントが必要だということを改めて感じました。正常・異常の判断をするうえで、呼吸の異常音を実際に聴くことができたのがすごく良かったです。

●聴診が苦手だったので実技を行えて良かった。

